



きずな

SENBI

2019年1月

第1901号

《2019年の抱負》

代表取締役社長 中田 義秀



新年明けましておめでとうございます。
新しい年が、皆様とご家族の方々にとって、
夢叶う素晴らしい年でありますようお願いいた
します。

さて、今年5月1日から新しい元号が施行されます。

「昭和」に生まれ「平成」に生きた私にとりまして、心新たに新しい元号を迎えたいと考えています。

平成の時代は、私たちの生活にどのような影響を与えたかを考えたとき、バブルの崩壊に始まり厳しい経済環境の中、一途の明かりを求めて奔走する激動の時代であったと思います。

私は「どのようにして業績を上げるか」について考えた時、あらゆる可能性に挑戦していかなければならないと感じています。業務改善も抜本的に見直し、有効な手立てを早急に講じていく必要性があります。

株式会社センビとしましても取り組むべき重要事項として、

- ① 新規事業開拓の挑戦
- ② 人財育成と確保
- ③ 会社のブランドカアップ

を方策として打ち出し、これらの具現化に向けて動き始めたところです。

しかしながら未だ道半ばの状況にあり、現実として実感できる成果は表れていません。そこには、社員の皆様と意思を共有できる時間的余裕も足りなかったのではとの反省もあります。

方向性は間違っておりません。常の前を向き、この重点事項を継続的・重点的に展開してまいります。一つの成就があれば必ず相乗効果が起こります。その相乗効果の結果が更なる次への発展へと導き、会社の業績アップに繋がるものと確信しています。

また、皆様の労働安全と衛生管理にも会社として責任を持って対応するため、本年1月1日に「安全衛生委員会」を設置しました。

会社として皆様の安全と健康が何よりも第一と考え、今後この委員会において労働災害防止や健康保持増進に積極的に取り組んでまいります。

節目となる新しい元号が始まる本年が、皆様と会社にとって輝かしい年の幕開けとなるようお願いを込め新年のあいさつとします。





2018年抱負



呉営業所
所長 齋藤敦則



新年、あけましておめでとうございます。
昨年末には日本漢字能力検定協会から発表された、2018の世相をあらわす漢字一文字は「災」でした。

文字通り、昨年は極めて、多事多難な年であったと思います。

呉地区においても、7月の記録的な豪雨により、市内全域で甚大な被害が発生しました。

あの翌日、ひとりひとり安否確認の電話をした所、全ての方より元気なお声が聞け、安堵したことを嬉しく思い出します。

さらに、ご家族、ご近隣の友人のご心配があるにもかかわらず、翌日より変わらず仕事に従事されたことに、ただただ感謝の気持ちで一杯です。(道路状況悪い中なので、通勤時間が大変だったと思います。)

明けたこの年も、責任感、使命感のある呉営業所の皆様と、お仕事が一緒にできることを誇りに思い、営業目標の達成実現に向け努力いたしますのでよろしくごお願い申し上げます。



東山口営業所
所長 本田健一



明けましておめでとうございます。

昨年、東山口営業所では、労務中の事故、また、通勤途中等の交通事故もなく、労災事故はありませんでした。

職員の皆様のご協力に感謝しております。

本年1月1日をもって、「株式会社センビ安全衛生委員会」が設置されました。安全衛生運営規程に基づき、従業員の皆様の安全と健康を確保し、連携をさらに強化して、労務災害ゼロを第一の目標として取り組みたいと思っていますので、ご協力をお願いします。

まずは、一にも二にも安全管理を一番で頑張っていきましょう。

三次営業所
所長 平田 勇



新年明けましておめでとうございます。

昨年はいろいろと大変な時期もありましたが、皆様の協力により新年を迎えることが出来ました。これからも三次営業所と従業員の方々と一丸となって向上の年としていきたいと思ひます。

今の業務をより良くしていく上で、もっと三次営業所が向上するよう再度努力し、管理体制も見直し自分自身も向上していくように業務に取り組んでまいりたいと思っております。

課題である人員不足もまだまだですが、仕事への取組む意識をもち向上して頂きたいと思ひます。

今年も三次営業所並びに従業員と共に頑張っけて参りたいと思っておりますので、皆様も三次営業所を今後ともよろしくお願ひいたします。

本年の目標として、

- (1) 向上心を持つ。
- (2) 人員確保
- (3) 売上目標の達成



東広島営業所
所長代理 大岡章三



新年、あけましておめでとうございます。

昨年は、トヨタオークション会場での警備業務の廃止による施設警備業務からの撤退、東広島医療センターの防災センターでの施設警備業務への新規参入、東広島医療センターでの玄関立哨交通誘導警備業務への新規参入等の大きな仕事がありましたが、何とか乗りきることができ、現在軌道に乗っています。これも、ひとえに現場の警備員の皆様の日々の並々ならぬご努力と本社及び呉営業所の皆様の絶大なるご指導・ご助力の賜物と感謝しております。

この場をかりて、厚く、深く、御礼申し上げます。

本年も、昨年同様、よろしくおねがいします。

受注業務については引続き、地元公共団体は、「原則受注資格、市内本店」の傾向を強くしています。このような情勢下、営業所では、情報収集と情報共有・創意工夫と努力を合言葉に、本年、平成31年の干支の猪のごとく猪突猛進し、頑張っけていきたいと思ひます。

今後とも、ご指ご助力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

安全衛生委員会の設置

当社は、2019年1月1日をもって「安全衛生委員会」を設置しました。

この委員会は、労働安全衛生法で設置が義務付けられているもので、今後、設置した委員会において、労働者の危険防止や健康障害の防止などを調査審議し、事業者に対し意見を述べることとなります。



委員会は、原則1か月に1回開催することとしておりますので、従業員の皆様は、労働安全や衛生管理についてのご意見やご希望があればそれぞれの職場から選出されている委員に進言してください。

皆様から提出された意見や希望は、委員会で調査審議し事業者である社長に審議結果を意見として提出します。



安全衛生委員会の委員には、関係法令の指定や職場からの推薦に基づいて次の15名の方々が選任されています。

関係法令指定	所属・役職	氏名	摘要
事業者	代表取締役	中田義秀	委員長
安全管理者	設備推進部 課長	榎本崇志	副委員長・職場の推薦
衛生管理者	総務経理部 社員	金井浩之	職場の推薦
産業医	高見内科 医師	高見俊輔	
安全衛生推進者	総務経理部 課長	真宅陽子	職場の推薦
	呉営業所 所長	齋藤敦則	職場の推薦
	東山口営業所 所長	本田健一	職場の推薦
	三次営業所 所長	平田 勇	職場の推薦
	東広島営業所 所長代理	大岡章三	職場の推薦
事業者の指名	常務取締役	松井和夫	
	取締役部長	金井秀文	
	監査役	神田陽博	
	営業推進部 課長	坂本裕二	職場の推薦
	業務推進部 主任	柚木裕子	職場の推薦
	警備推進部 社員	広瀬保樹	職場の推薦



亥年とは



2019年の十二支は「猪」です。干支でいえば「己亥」（つちのとい）となります。

「己亥」の「己」には、前の十二支「戌」が「文化繁栄」を意味しており、「己」がこの文化繁栄を分散させないように統制する意味があるそうです。

さらには、亥には生命の力が閉じた状態のあることを表しているため、「己亥」は、今の繁栄をしている状態を維持するよう守りに徹した方がいい年とされています。



亥生れの大きな特徴としては、十二支の「亥」を表すように、非常に真っすぐな方が多く純粋な人が多いと云われています。

そのため、人が行っていることを素直に受け入れて自分のものにする力を秘めており、呑み込みが早いタイプの人が多いです。

しかし、話術が得意な人に対しては丸め込まれる傾向があるので、注意しないと素直であるから騙されやすい特徴があるとされています。



「亥」年と相性のいい十二支

亥年と相性が良いとされている十二支は、「子」（ねずみ）、「卯」（うさぎ）、「未」（ひつじ）、「酉」（とり）年生まれの方とされています。この4つの十二支生まれの方となら、衝突も比較的起こりにくいので、良縁を結びやすいとされています。

亥年生まれでない方も、亥年生まれの方とかかかわると運気の関係も変化するため、意外に知っておくと便利であることもあります。

いずれにしても、運勢や性格などはあくまでも傾向であって、ぜひ自分の人生が良い方向に転ぶように掴み取って下さい。



年末・年始無災害運動

例年12月15日から翌年1月15日までの約1か月間、「年末・年始無災害運動」が全国一斉に開催されます。

当社も、年間安全衛生推進計画にこの運動を掲げています。

年始の慌ただしい時期に加え天候も一段と冷え込み、普段の作業や生活リズムが変わりやすく、各事業場や職場では災害防止のために特別な配慮が必要となります。

次の事項を重点実施項目としていますので、無災害に向け積極的に取り組みましょう！



- ◆ 保護具の点検と着用。特にヘルメットを必ず着用し、お客様に安全安心をお届けしましょう。
- ◆ 脚立・梯子を正しく使い、労働災害の大きな要因を摘み取りましょう。
- ◆ KY活動並びに作業活動開始前・再開時の安全確認を徹底しましょう。
- ◆ 車両運転で、後退時は必ず直接目視しましょう。(降車し安全確認)
- ◆ 車両乗車前の一周確認を実施しましょう。(乗車前の安全確認)

編集後記



2018年(平成30年)の漢字は、2004年(平成16年)に続き2度目となる「災」でした。その理由として、①地震、豪雨、台風、猛暑などの自然災害の脅威を痛感した一年、②災害の経験から全国的に防災意識が高まり、多くの人が自助共助の大切さを再認識した年、そして③仮想通貨流出、スポーツ界でのパワハラ問題、財務省決裁文書改ざん、大学不正入試問題などの事件が発覚し、多くの

人がこれらの出来事を人災や災いと捉えた、と3点が挙げられています。

次点には「平」、3位には「終」だったそうですが、これらの漢字は「平成」の最後に思いを馳せて投稿されたようです。

社内報の題字である「きずな」という漢字(絆)も、2011年(平成23年)の漢字として選ばれています。その年の出来事や思いを一文字で表現することのできる「漢字」の文化に改めて敬服です。

2019年の漢字は、未来志向で皆が幸せを感じる明るい漢字が選ばれる年になって欲しいと願っています。



《文責 総務経理部 N.T》